

第2回
芦屋市街路樹更新計画
策定委員会

【議 事】

- ① 前回委員会での意見
- ② 策定スケジュール
- ③ 市政モニターアンケート結果
- ④ 市内街路樹の管理方針
 - ⇒ 1. 4つの管理方針（方向性）
 - 2. 各路線の更新タイプ
 - 3. 各路線の管理方法
- ⑤ 市民参画協働

前回委員会での意見

前回委員会

【開催日】

令和2年3月25日（水）14：00～

【議 事】

- ① 街路樹の現状と課題
- ② 更新計画の目的
- ③ 更新計画のスケジュール
- ④ 市政モニターアンケート

前回委員会での意見

- 計画目標に芦屋らしさを感じられるものにすべきではないか。
- 街路樹に愛着を持ってもらうためのPRや広報が不足しているのではないか。

⇒オープンガーデンや花と緑のコンクールに併せて、街路樹について好きなところを挙げてもらうような取組みができないか検討。

- 評価を定量化することが必要ではないか。

⇒実施評価について方法や時期を検討。

前回委員会での意見

市民モニターアンケートについて

- 剪定や街路樹整備に対する意識を問う
- 前提条件をきちんと示す

⇒アンケート内容を修正し、実施。

策定スケジュール

策定スケジュール

時期	内容
3月25日	第1回 芦屋市街路樹更新計画 策定委員会 開催 「計画の目的、芦屋市の状況、更新計画の方向性、アンケート内容の検討」
6月～7月	市民意向調査（アンケート）実施
9月15日	第2回 芦屋市街路樹更新計画 策定委員会 開催 「シンボル路線候補等の選定・方針、市民参画協働」
11月初旬	第3回 芦屋市街路樹更新計画 策定委員会 開催 「計画案の検討」
12月初旬	市議会
12月中旬 ～1月下旬	パブリックコメント実施
2月	第4回 芦屋市街路樹更新計画 策定委員会 開催 「計画最終案の検討」
3月	市議会
3月	計画策定

アンケート結果

アンケート結果

【概要】

目的： 芦屋市街路樹更新計画策定に向けて
市民の街路樹に対する意向調査を行う。

実施時期： 令和2年6月25日～7月6日

対象： 市政モニター 100名

回答数： 93名

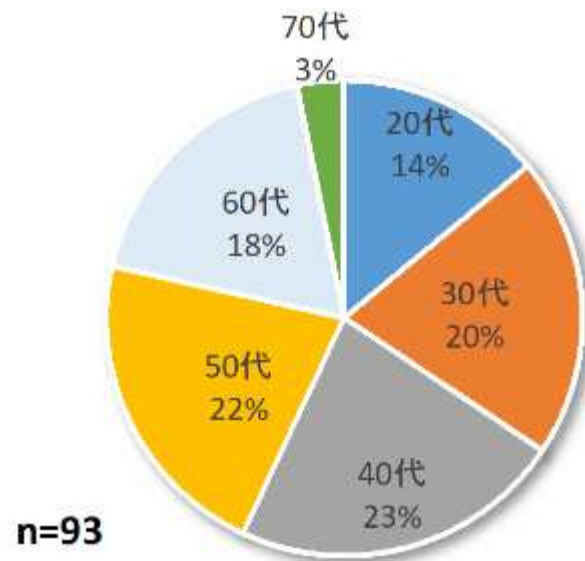
【市政モニター】

平成31年4月1日現在の住民基本台帳から無作為に選んだ18歳以上の1,000人の方に市政モニター制度への協力をお願いし、ご承諾をいただいた方の中から、お住いの地域、年齢などを考慮して選出した100人の方で構成

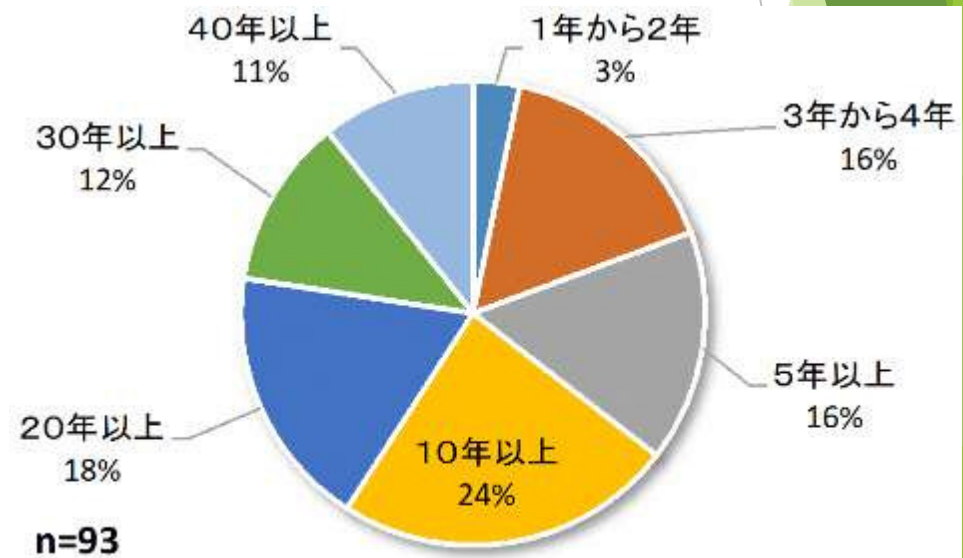
アンケート結果

【属性・居住歴】

- 回答者の属性は20代～60代でほぼまんべんなく回答
- 居住歴は「3～4年」「5年以上」「10年以上」「20年以上」「30年以上」でほぼまんべんなく回答



【属性】

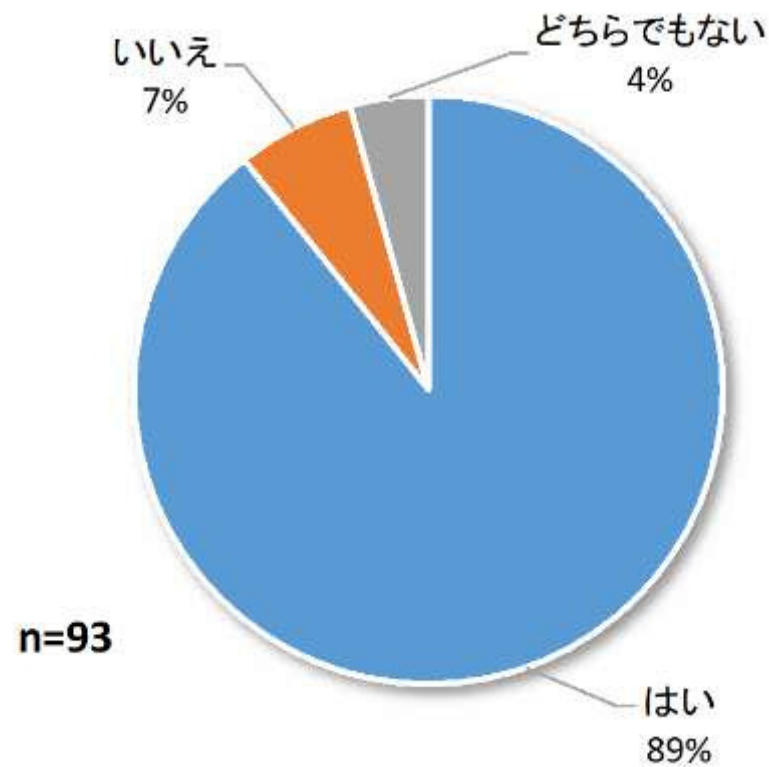


【居住歴】

アンケート結果

【街路樹が好きか】

- 約9割の方が「市内の街路樹が好き」と回答

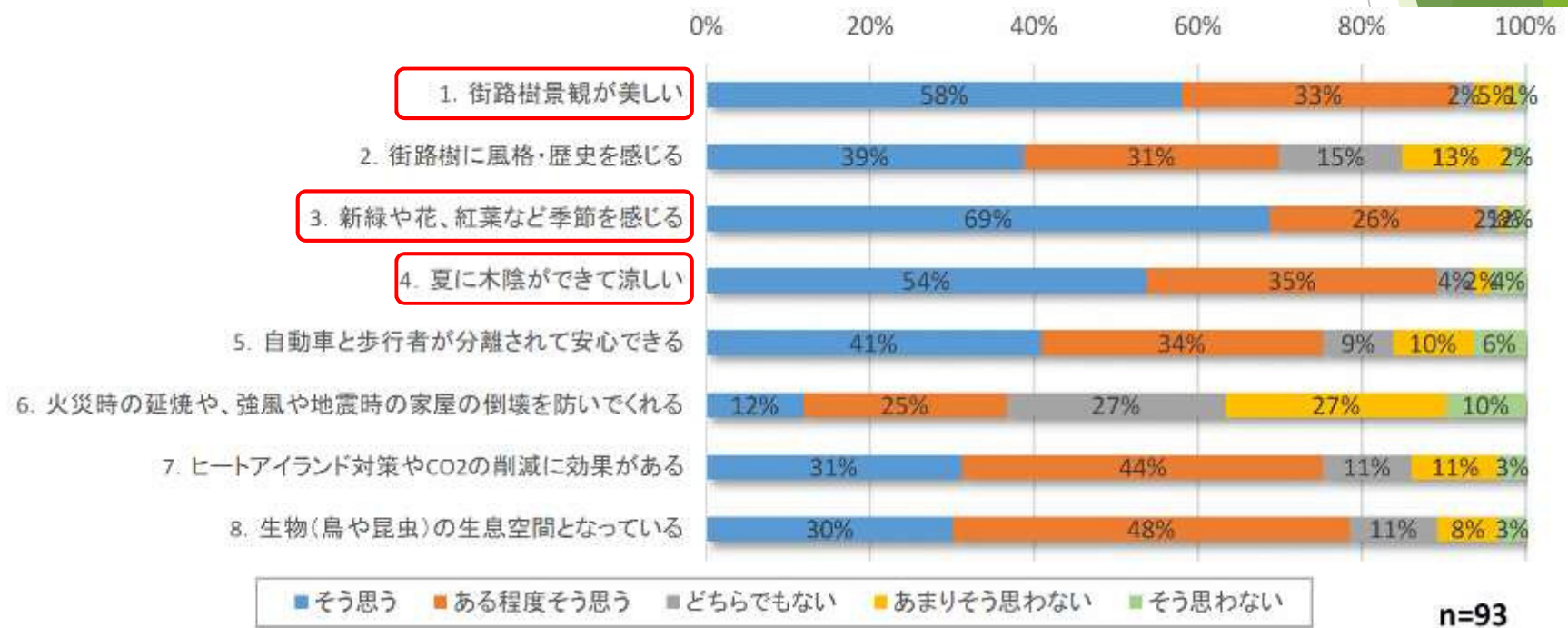


【街路樹が好きか】

アンケート結果

【良いと感じること】

- “**そう思う**”と“**ある程度そう思う**”を足すと、「**街路樹景観が美しい**」「**新緑や花、紅葉など季節を感じる**」「**夏に木陰ができて涼しい**」が良いと感じている人の割合が高い

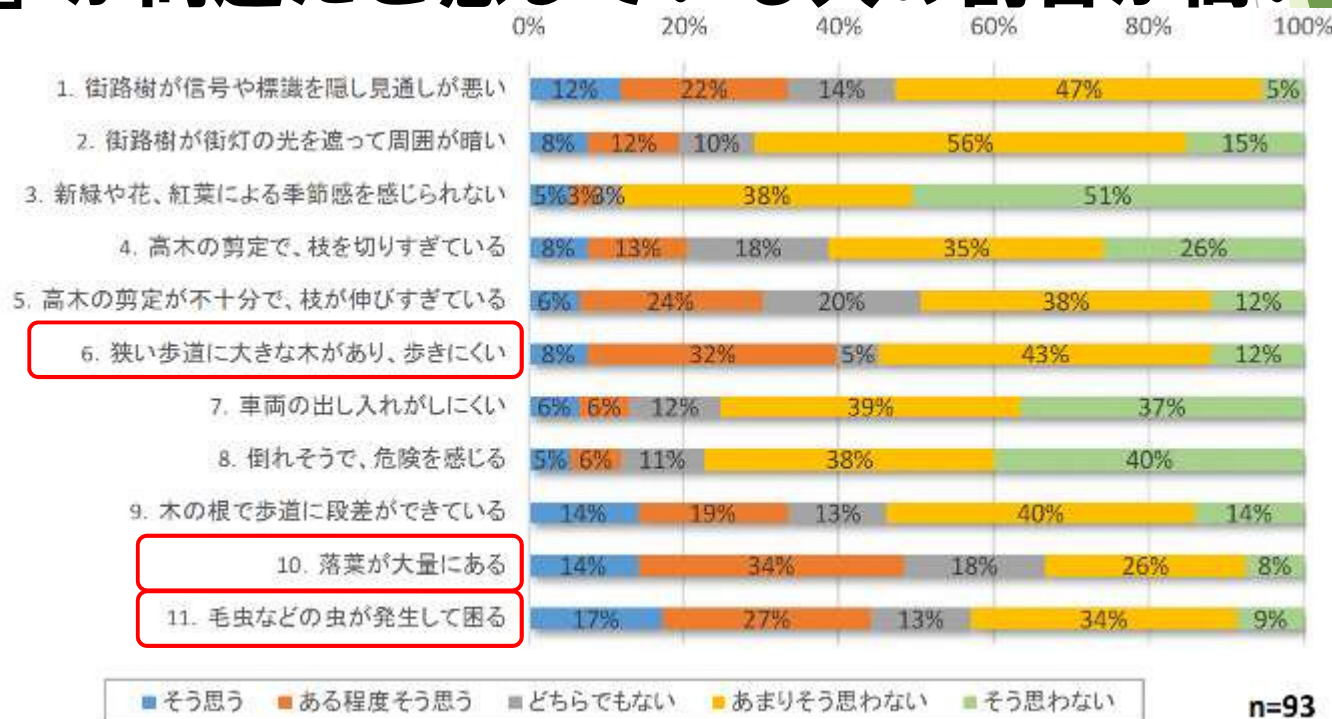


【良いと感じること】

アンケート結果

【問題だと感じること】

- “そう思う”と“ある程度そう思う”を足すと、「落葉が大量にある」「毛虫などの虫が発生して困る」「狭い歩道に大きな木があり歩きにくい」が問題だと感じている人の割合が高い



【問題だと感じること】

アンケート結果

【良好な樹木だと思える路線】

- 「芦屋川沿い(クロマツ、サクラ)」「宮川沿い(サクラ)」「鳴尾御影線(ケヤキ)」「駅前線(サクラ)」「芦屋中央線(ハナミズキ)」「宮川けやき通り(ケヤキ)」などの路線を良好な街路樹だと思っている人が多い

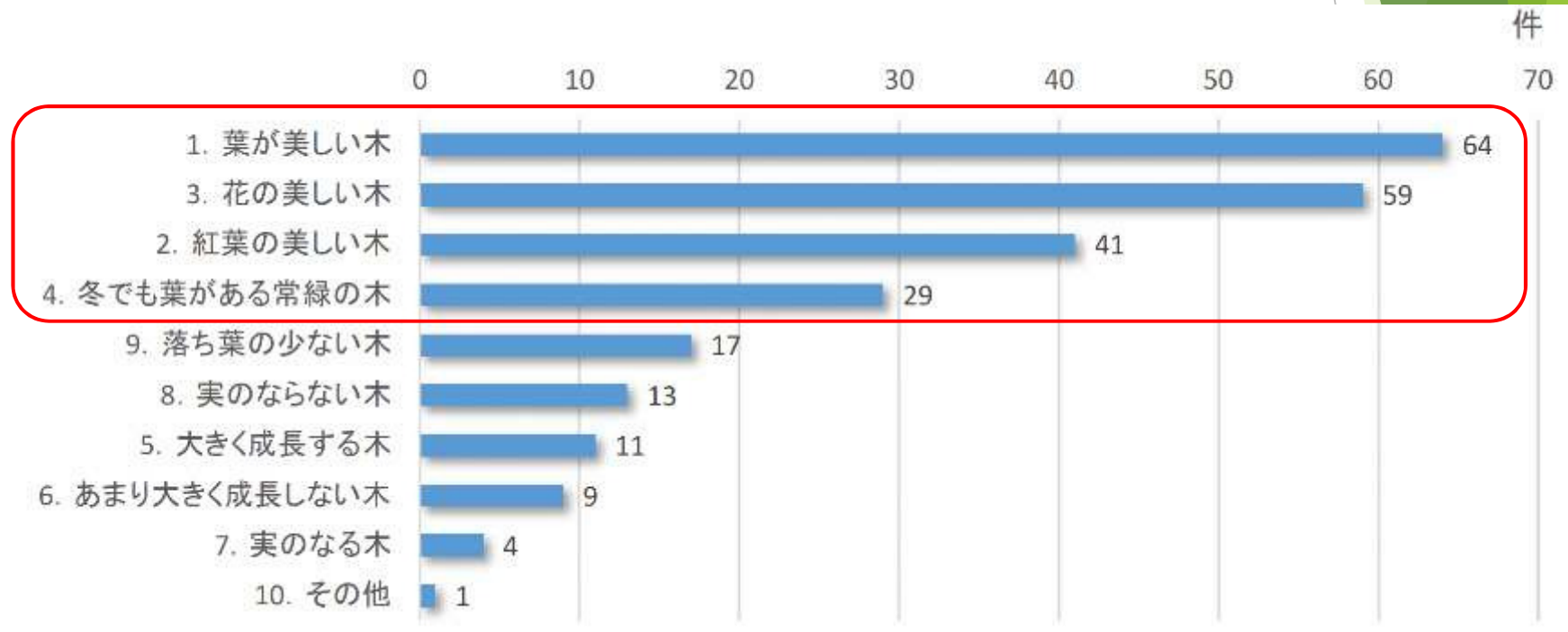


【良好な街路樹だと思える路線】

アンケート結果

【街路樹にふさわしいと思う木】

- 「葉が美しい木」「花の美しい木」「紅葉の美しい木」「冬でも葉がある常緑の木」が街路樹にふさわしいと思っている人が多い

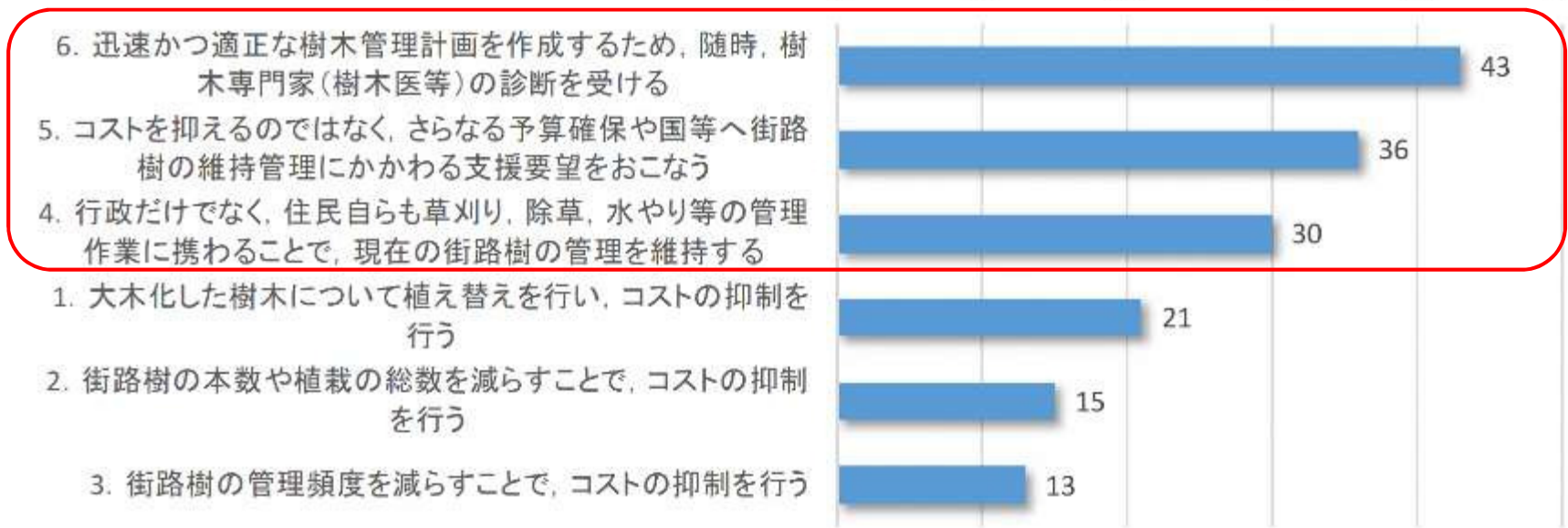


【街路樹にふさわしいと思う木】

アンケート結果

【今後の街路樹管理について】

- 「迅速かつ適正な樹木管理計画を作成するため、随時、樹木専門家（樹木医等）の診断を受ける」「コストを抑えるのではなく、さらなる予算確保や国等へ街路樹の維持管理にかかわる支援要望をおこなう」「行政だけでなく、住民自らも草刈り、除草、水やり等の管理作業に携わることで、現在の街路樹の管理を維持する」と思っている人が多い



【今後の街路樹管理について】

市内街路樹の管理方針

市内街路樹の管理方針 【更新計画の目標】

目標

これまでの維持管理方針を見直し、緑豊かな景観を維持しながら、適切な管理を行うことで、持続可能で質の高い緑を充実させ、「芦屋庭園都市」の実現を目指す。



市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

1 街路樹の適正化による安全・快適な街路空間の確保（危険木・不適合木の撤去・更新）

- ① 危険木や支障木の撤去・更新
 - ・ 危険な大木、老木、支障木の撤去・更新による安全確保
 - ・ サクラに関しては「芦屋市サクラ樹簡易診断業務」の結果も参考に判断
 - ・ その他、日常点検において判断の難しいものなどについて、樹木医による診断を検討

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

1 街路樹の適正化による安全・快適な街路空間の確保（危険木・不適合木の撤去・更新）

② 道路空間や周辺環境に対する不適合木の撤去・更新

- 狭小な植栽柵、狭幅員の歩道や街路への無理な植栽による根上がりの解消
- 「生物多様性に悪影響を及ぼす外来生物への対応」において、ブラックリストに挙げられている樹木の撤去・更新
- 沿道の緑が十分に確保され、環境保全や景観向上の効果が薄い街路樹（二重植栽など）の段階的な解消

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

2 健全で風格ある街路樹の育成 (育成環境の見直し)

- ① 健全な街路樹育成を目指した配置整理
 - ・ 大木化した樹木を、樹冠が重ならず、景観的な連続性が確保できる植栽間隔に再構成
 - ・ 高木を新植する場合は、将来的な目標樹形や周辺環境などの諸条件に合わせて適正な植栽間隔を確保
 - ・ 更新や樹種更新の際に適正な植栽基盤を確保

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

2 健全で風格ある街路樹の育成 (育成環境の見直し)

- ② 風格あるまちなみを創出する適正な維持管理
- ・ 矯正型自然樹形を基本に、路線ごとに道路空間や樹種に応じた目標樹形を設定
 - ・ 大径木は樹形再生や更新により樹高を抑制し、適正な剪定管理を実施

※矯正型自然樹形…道路幅などの制約に合わせ、自然樹形に相似した形に縮小した樹形

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

3 芦屋らしい街路樹景観の形成 (まちなみとの調和のとれた芦屋らしさの創出)

① シンボル路線の設定

- 「景観計画」において特別景観地区、景観計画重点地区に指定されている路線や「都市計画マスタープラン」においてシンボルロードの景観形成、緑豊かな道路景観保全及び形成に指定されている路線、アンケートにより良好な街路樹であると感じられる路線などから「シンボル路線」を設定し、質の高い維持管理を行う。

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

3 芦屋らしい街路樹景観の形成 (まちなみとの調和のとれた芦屋らしさの創出)

- ② 芦屋市らしい景観に配慮した撤去・更新（景観阻害要因の排除と地域性への配慮）
 - ・ 街路樹更新の際は景観・歴史性など地域特性やまちなみに配慮し、まとまった単位での更新により、景観の連続性を確保
 - ・ 樹種の選定においては、地域住民と協議し、地域住民の意向に十分配慮

市内街路樹の管理方針

【街路樹管理方針】

4 新たな維持管理の仕組みづくり

- ① 地域住民・企業との連携
 - ・ 地域住民が街路樹の整備や維持管理などに関わる新しい仕組みを構築
 - ・ 事業者との連携を強化し、包括管理の検討等、街路樹育成の促進を目指す

市内街路樹の管理方針

【効果的・効率的な計画の推進】

地域ごとの特色や市民の意識などを踏まえて、各路線の街路樹のあり方を示し、より円滑に更新を進めていく。

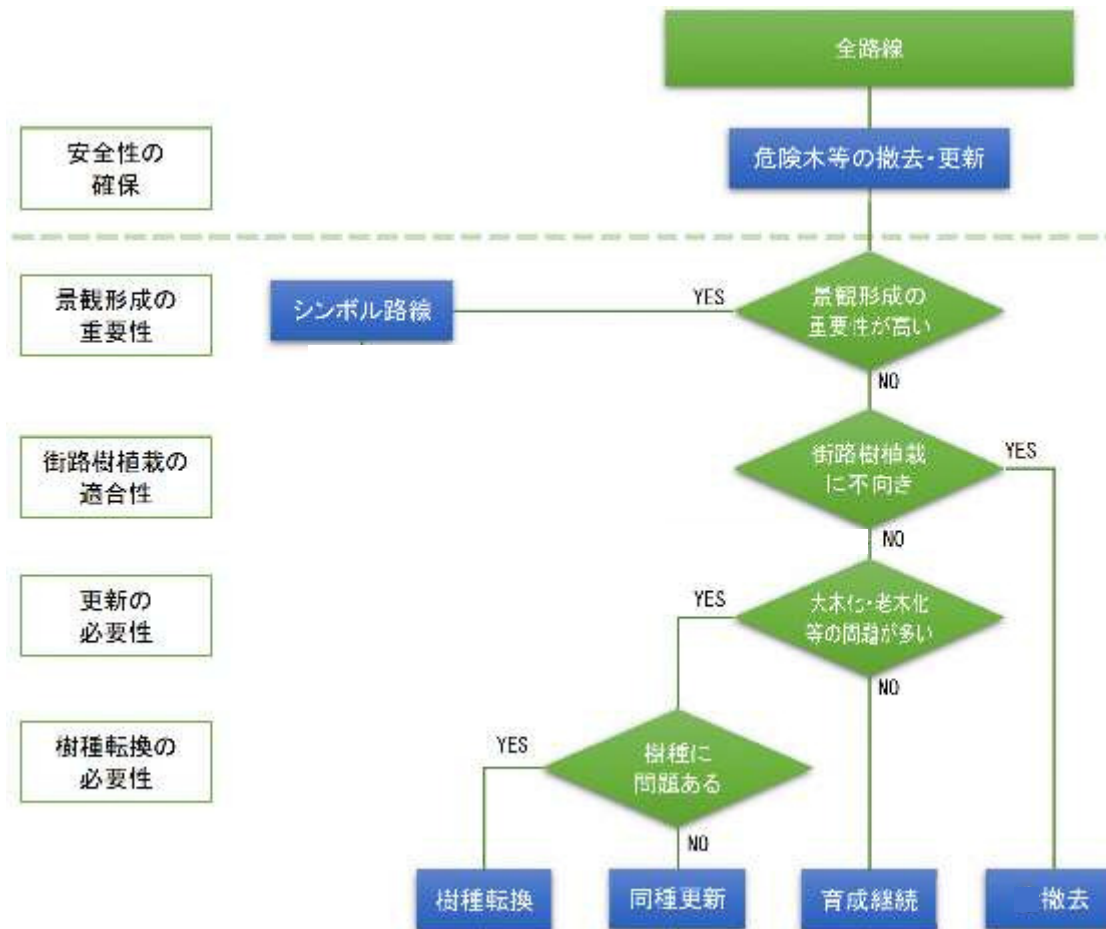
市内街路樹の管理方針

【更新タイプ】

更新タイプ	概要	配置整理等
シンボル路線	景観的に重要な路線として、芦屋ブランドの向上に向けて質の高い管理を行う。樹種に応じた適切な基本剪定に加えて、状況により、合わせて軽剪定を行う。	危険木や不適合木、問題のある大径木については優先的に撤去・更新する。
同種更新	同種の若木に植え替える。路線全体の景観を損なわないよう、まとまった範囲での植え替えや数本に1本ずつの植え替えを行う。	植栽間隔が詰まっている場合は、配置整理を行い、適正な植栽間隔を確保する。
樹種転換	現況と異なる樹種に植え替える。路線全体の景観を損なわないよう、まとまった範囲での植え替えや数本に1本ずつの植え替えを行う。	更新や他事業等による街路整備に合わせて、歩道の有効幅員を確保し、十分な大きさの植栽柵を確保するよう務める。
育成継続	基本的に現状通りの維持管理を行う。また、今後、大径木化等の問題が発生した場合は適宜同種の若木に植え替える。危険木や不適合木は優先的に植え替える。	
撤去	路線全体に街路樹植栽に不適、もしくは、街路樹の機能が発揮されにくい場合は高木を撤去する	—

市内街路樹の管理方針

【路線別の更新タイプ検討の流れ】



市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針】

以下の条件から「シンボル路線候補」を抽出する。

- ① 上位計画において位置づけられている路線かどうか
- ② 市民アンケートで「良好な街路樹がある」と思われている路線かどうか
- ③ 現状の街路樹の状況（外来種の植栽、植栽基盤の不良などを考慮）が適しているかどうか

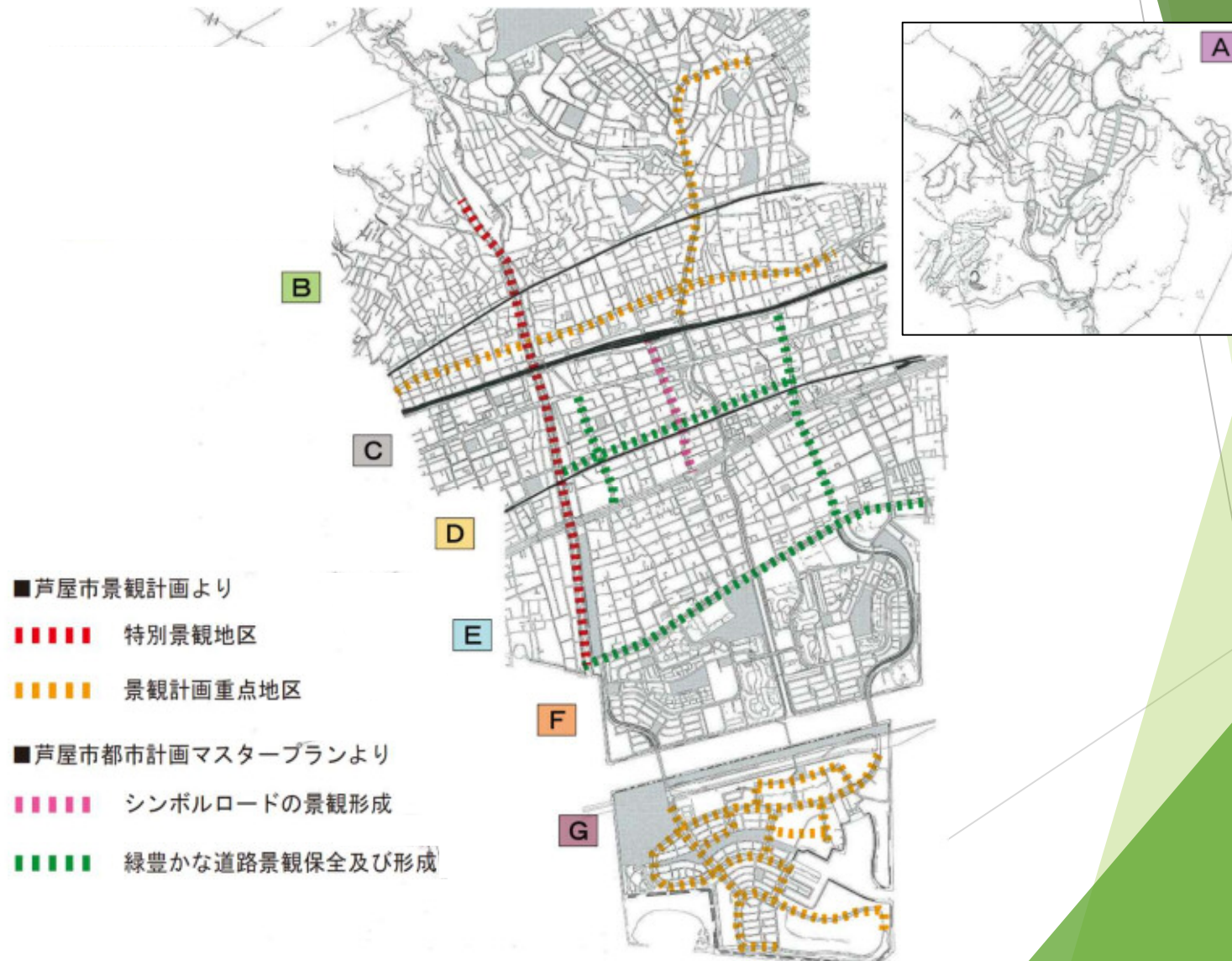
市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針①上位計画】

- 「都市計画マスタープラン」でシンボルロードの景観形成、緑豊かな道路景観保全及び形成に指定されている路線
- 「景観計画」で特別景観地区、景観計画重点地区に指定されている路線

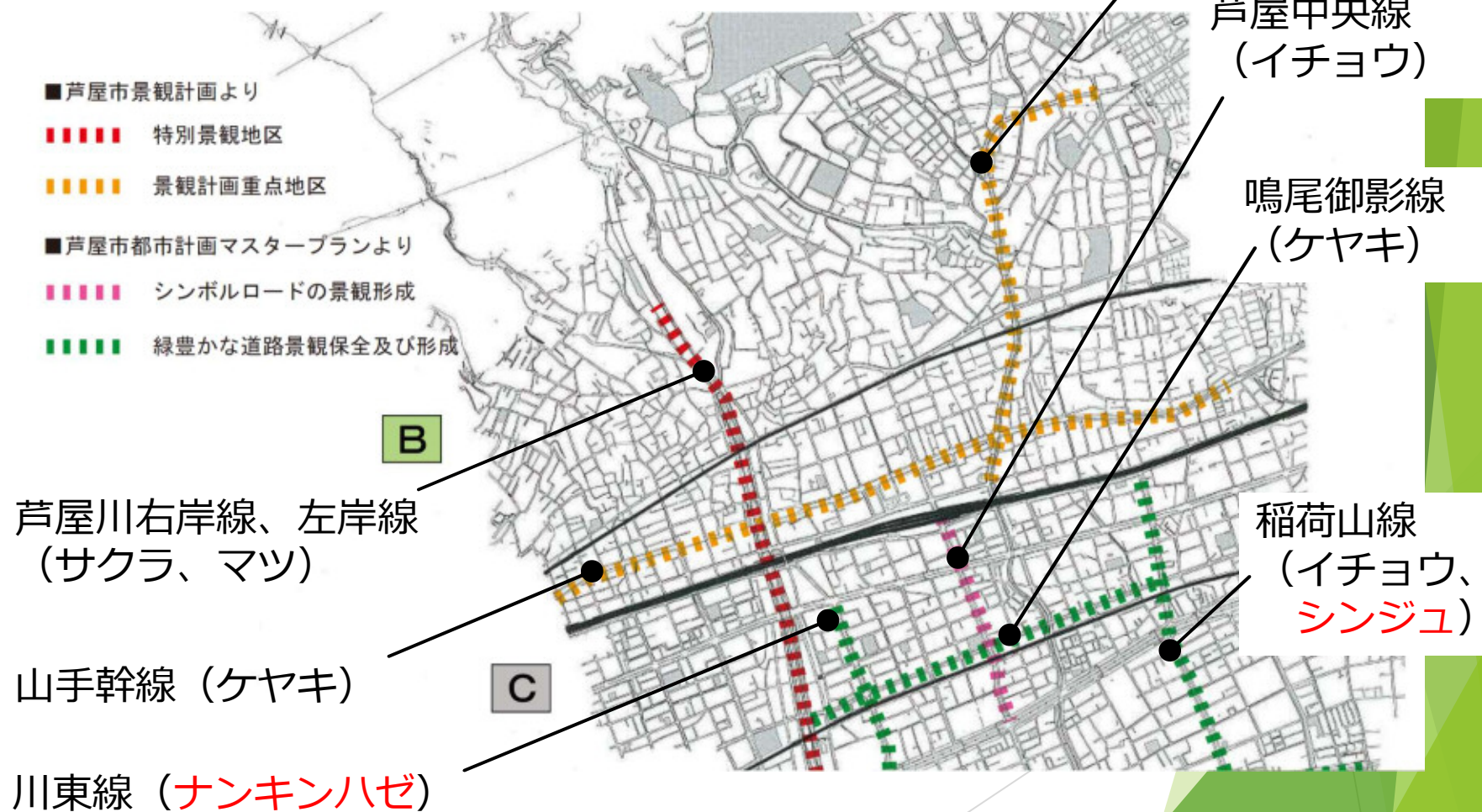
市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針①上位計画】



市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針①上位計画】



市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針①上位計画】

稲荷山線
(イチョウ、
シンジュ)

■ 芦屋市景観計画より

■■■■ 特別景観地区

■■■■ 景観計画重点地区

■ 芦屋市都市計画マスタープランより

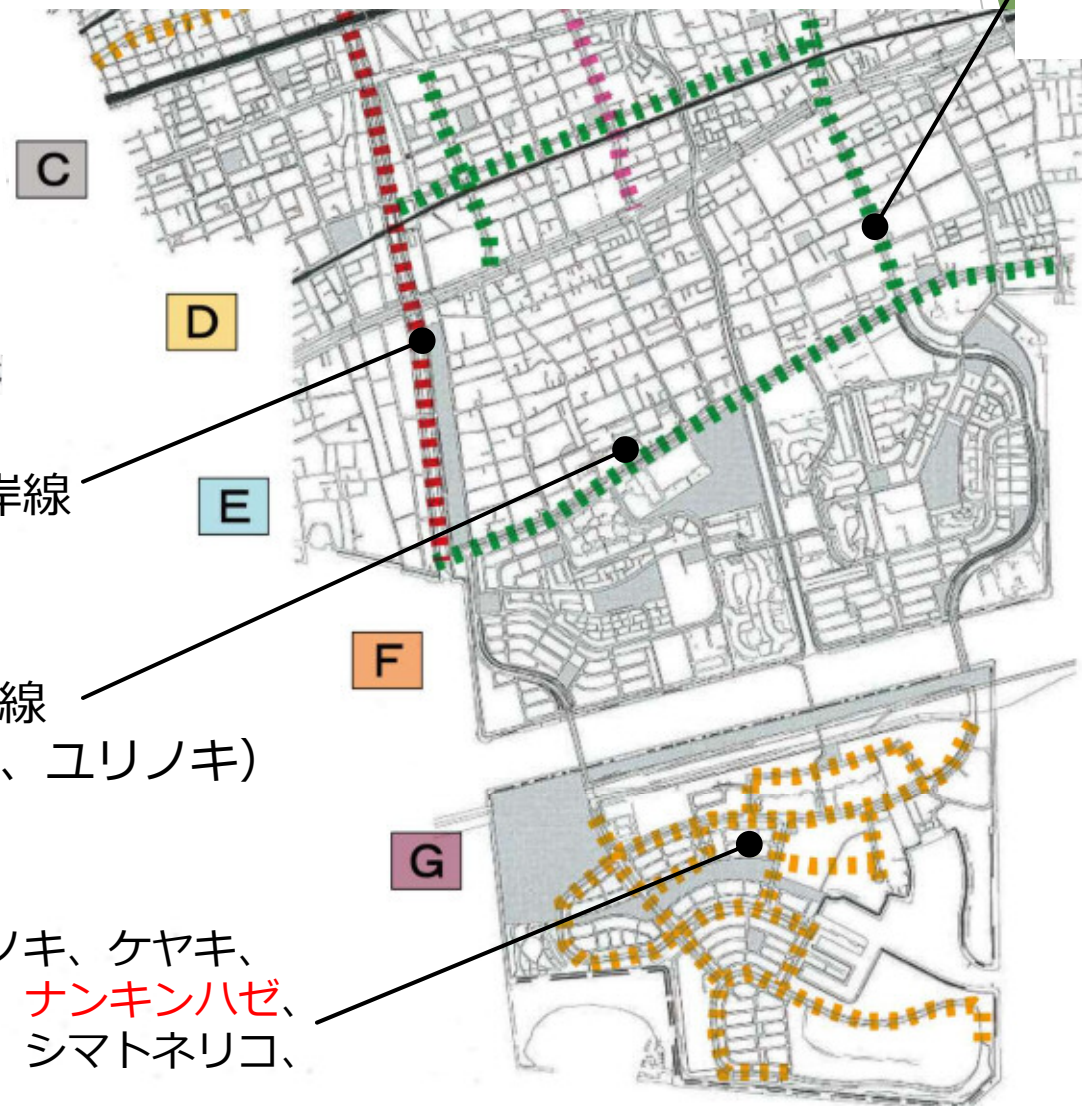
■■■■ シンボルロードの景観形成

■■■■ 緑豊かな道路景観保全及び形成

芦屋川右岸線、左岸線
(サクラ、マツ)

防波堤線
(マツ、ユリノキ)

南芦屋浜の各路線
(ジャカラダ、クスノキ、ケヤキ、
タブノキ、マテバシイ、ナンキンハゼ、
トウカエデ、ヤマモモ、シマトネリコ、
クロガネモチなど)



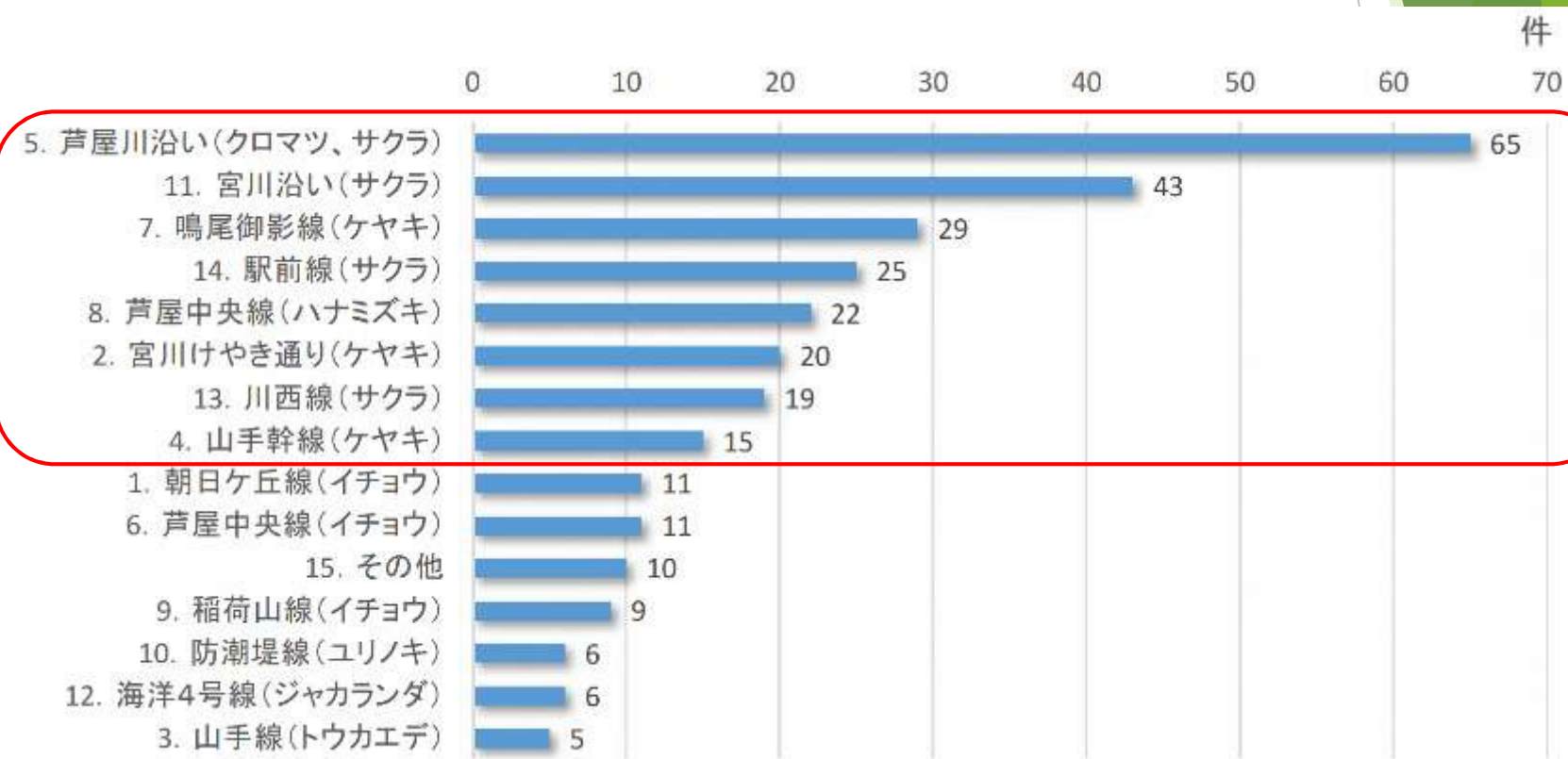
市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針②アンケート結果】

■アンケート

問5 あなたが市内で特に良好な街路樹であると思う路線はどこですか。

アンケート上位



市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針②アンケート結果】

第1位

芦屋川右岸線、
左岸線 サクラ、マツ

第8位

山手幹線 ケヤキ

第4位

駅前線
サクラ

第7位

川西線
サクラ

第6位

宮川けやき通り
ケヤキ

第3位

鳴尾御影線
ケヤキ

第5位

芦屋中央線
ハナミズキ

第2位

宮川沿い
サクラ



市内街路樹の管理方針

【シンボル路線の選定方針③現状の街路樹の状況】

下記の路線は、現状を勘案してシンボル路線候補から除外する。

路線名	上位計画位置づけ	アンケート順位	現状
川東線	都市計画マスタープランにおける「緑豊かな道路景観保全及び形成」	- 選択肢外	樹種がナンキンハゼであり、更新を進めていく必要がある。
防潮堤線		13位	周囲の緑量が多く、特徴的な並木となっていない。
稻荷山線		12位	一部樹種がシンジュであり、更新を進めていく必要がある。
南芦屋浜の各路線	景観計画における「景観計画重点地区」	13位 海岸4号線	樹木が未だ小さい。樹木の生育環境としては厳しい立地である。 また、一部樹種はナンキンハゼであり、植替えを進めていく必要がある。